

# 地方創生の取り組みと 成果について



森 定雄 議員

**【問】** 牟岐町では地方創生活動のテーマとして「教育と健康」を掲げており、中でも「健康」は町長の公約として強く全面に押し出されている。

平成27年から28年の2年間で、約5千50万円の経費が地方創生費用として計上されており、平成28年5月発行の「広報むぎ」に掲載されていた地方創生についての今後の取り組みとして挙げられたのは、①「自然景観、町並み景観の整備と散策道の整備」②「定期的な能力開発イベント」③「訪問者の受け入れ体制の整

備」④「①～③を運営する組織の設立」の4点だった。町並みの景観では、町境の看板の整備の準備に取り掛かっており、自然景観においては、渡り蝶を牟岐町に呼び込もうと、住民有志が橋の畑や小学校校庭などに「フジバカマ」を植え、秋にはたくさんの「アサギマダラ」が飛来し、人々の目を楽しませた。

②については、昨年10月に気候療法士インストラクターやライフキネティック公認トレーナーの育成講習会などが開かれていたが、これによる成果や今後、具体的にとどのような取り組みを行っていくのか。③は、どういった現状なのか。④の組織の設立がなされているのか、これらの現時点での取り組みと成果は。

**【答】** **【福井町長】**

「広報むぎ」に挙げられていた4つの項目は、地方創生事業として町民の皆さんに理解していただくためのもので、国の交付金の補助限度額が示されていたことから、限度内であれば計画に沿うものは事業採択されるものと思い掲載した。しかし、ハード事業は全

て採択されず、結果2番目の「能力開発イベントの実施」以外は財源が確保されず、進捗が遅れている。能力開発イベントについては、昨年気候療法とライフキネティックのインストラクターとトレーナーの養成を行ったが、主導的な団体に運営費等を出しておらず、運営に係る組織づくり

ができていない。今年度中には事務所の位置を確保し、稼働していたきたい。民間企業だけでなく、健康に係る組織としては、観光の一貫としても行いたいので、観光協会を自立した組織として法人化できるような取り組みを進めている。



ライフキネティック公認トレーナー育成講習会

**※1 気候療法**

日常住んでいる土地の気候要素（気温、湿度、降水量、日照時間など）と異なる条件の土地へ転地して生活し、その気候要素の差異を刺激として積極的に病気の治癒促進に役だてたり、治癒へのきっかけとして利用する療法をいう。

**※2 ライフキネティック**

ライフキネティックとは、「運動と脳トレを組み合わせたエクササイズ」